

平成 28 年 (2016 年)3 月定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会 2 班 西條

実施日： 平成 28 年 3 月 13 日 (日)

天候： 曇時々晴

コース： 阪急岡本駅～櫻守公園 (岡本南公園) ～八幡谷～水平道～十文字山下解散

テーマ： 春の陽光を浴びる水平道を歩く

見所： 水上勉著「櫻守」のモデルとなった桜の研究者・笹部新太郎の記念公園である「櫻守公園」、かつての梅の名所であった岡本梅林の一部を再現した「岡本梅林公園」、六甲山の陽光の春の芽生え、植林地の植生などを観察する。

参加者： ビジター 46 名、 会員 29 名 計： 75 名

ガイド： ビジター担当 1 班 竹岡、 2 班 近藤、 3 班 岡本、 4 班 荻谷  
5 班 松本、 柏堂  
会員担当 武川、 竹上

活動と観察の記録

①岡本駅～八幡谷入口 (9:00～10:40)

- ・到着したビジターを順次案内して櫻守公園で受付を行う。(～9:15) 班長 (村山) の挨拶、班分けを行った後、少し広がって体操。(担当 荻野)
- ・莊川桜、造幣局通り抜けの桜の指導で有名な桜博士こと笹部新太郎について、昭和 35 年から 53 年まで住んだ邸宅跡が櫻守公園になったこと、そして、この地で生まれたオシザクラとカスザクラの交雑種である笹部桜について説明する。(担当 柏堂)  
注意事項伝えた後、櫻守公園を出発。(9:30～9:40)
- ・岡本梅林公園で、岡本梅林の歴史を資料を示して説明する。(担当 西條)
- ・岡本八幡神社にて衣服調整。(～10:20)
- ・八幡谷手前(駐車場)の大きなセンダンの木の下で、水の入ったペットボトルにすり潰したセンダンの実を入れ、振ってできた泡を見せる。サボンを含む植物 (他にエゴノキ、クワジ) は昔石鹸代わりに洗濯に使ったことを説明する。

観察した植物：オシザクラ、イシヅリ、アメリカスミライシ、クワジ、センダン

②八幡谷入口～杉林 (山の神分岐前) (10:40～11:10)

- ・八幡谷溪谷は危険箇所なので、説明なしで静かに歩く。
- ・ヤブタバコの前年終わりに発芽した根生葉と前年枯れて残ったものを見ながら、根生葉は冬に十分に光を浴びて光合成をしやすくする為に広がった状態(ベッタ)になっていること。  
ヤブタバコの特徴は主茎が途中で止まり横枝を放射状に出すことを説明する。
- ・杉林で 10 分程水分補給の休憩。

観察した植物：ペラペラヨメ、クイチゴ、カバタチホオスミ、ワジュロ、ヤマコウバシ、イタチキ、マンリョウ、アキノ、アキ、ヤブタバコ、ライカズラ、イビラカズラ

### ③杉林～関西電力送電鉄塔(11:20～12:00)

- ・山の神分岐から上り坂が続く為小休止も兼ねて、リンボク、ハカシダ、クスノキの有用性、スギ・ヒノキの見分け方などの説明を行う。
- ・リンボクの葉を揉んで匂いを嗅いで桜餅のような香りを確認。サクラと同じバラ科で香り成分マルンによって香りがよく樹皮もサクラと似ている。しかし、花期が9～10月で常緑であることなど違いも説明。
- ・ハカシダの葉を裏返して胞子をみながら、シダの生活史の説明をする。
- ・鉄塔の下で昼食。4月定例自然観察会のチラシの配布、六甲山自然案内人の会エキスパート講座受講の勧誘を行う。(12:00～12:30)

観察した植物：リンボク、ハカシダ、ヤマザクラ、クスノキ、スギ、ヒノキ、アセビ、シミ

### ④鉄塔～スギ、ヒノキの樹林帯休憩地(12:30～13:30)

- ・食事終了後、12時半1班から順次出発。
- ・ヒサキの独特の匂いに、ビジターの方からは悪臭ではなく春の訪れの匂いだとの声。同じようにお墓や仏壇に供えられるシミの花が開き始め、この実は植物では唯一劇薬に指定されているので注意するよう話す。
- ・このコースにはクスノキ科のクスノキ、シロガモ、ヤブニッケイが多く見られ、三行脈、冬芽、芳香、ダニ部屋など相違点と類似点をあげて説明する。
- ・ちょうど冬芽が目の高さで見える所で裸芽のムササギアゲと鱗芽の刈を観察する。

観察した植物：ヒサキ、ソヨゴ、シロガモ、ヤブニッケイ、ナシロガミ、ガマズミ、カツカ、アセビ、ホリバナ、刈、ムササギアゲ、トチキ

### ⑤休憩地～十文字山下（解散場所）(13:40～14:50)

- ・小休止後、スギ、ヒノキの樹林帯の中を棘のあるカラスザンショウとタラシの比較やゴンスイのエグな冬芽などを観察しながら下って行く。
- ・十文字山山頂近くに植わっている3本のカツザクラが満開～散り始めの状態で、ビジターの方は大喜び。
- ・オハヤシヤブシを枝先から葉、雌花序、雄花序の順につくことや果穂にタンニンが多く黒の染料（五倍子）の代用に使ったことなど説明する。

観察した植物：カラスザンショウ、タラシ、ゴンスイ、イカヤ、クサギ、アセビ、クロモジ、イヌビロ、カツザクラ、カバモミジイゴ、ウグイサガラ、アベマキ、クスギ、イゲリ、オハヤシヤブシ、ヤマウルシ、シヤンボ、コバミツバツツジ、モツツジ



可憐なウグイサガラの花

- 感想他：
- ①ビジターが多く1班増やすことになり、急遽松本さんと当班の柏堂さんにガイドをお願いすることとなった。
  - ②駅から櫻守公園までの移動と受付に時間をとられないかと心配したが、ビジターもリーダーが多かったのかスケジュール通り進んだ。
  - ③幾つか危険箇所では説明をしないよう事前の打ち合わせと当日の班長の注意喚起で、事故なく終えることができよかった。
  - ④岡本梅林公園の梅も数本の八重の梅が残っているだけの花のない時期で寂しかったが、後半満開のカツザクラと早咲きのコバマツバツツジが美しく、今回の観察会に花を添えてくれた。



櫻守公園にて



笹部桜の説明



岡本梅林公園にて岡本梅林の説明



ハカタシダ



ガイドの説明に聞き入るビジターの方々



本当は怖い花？シキミ